

| | | | | | | | | | |
|----------------------|---|------|----|---------|----|------|-------|-----|----|
| 講義コード | 11C0128815 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | 櫻井 一宏 | 開講期 | 通年 |
| 科目名 | ゼミナールⅡ(櫻井) | | | | | | | | |
| 履修前提条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | 本ゼミナールでは、環境や環境問題のメカニズムについての理解や基本的な分析方法の知識をもとに、興味のあるテーマを設定して学術的課題・社会的問題などの視点から調査・研究を行う。グループワークを基本とし、自主性・協調性をもって作業を進め、適宜ゼミナールでの報告会を行い、メンバー間で討論する。必要に応じて研究テーマに関する外部勉強会や見学会、フィールド調査などを実施する。最終的にはゼミ大会での発表を行い、論文にとりまとめる。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 調査・研究対象として興味のあるテーマについて、具体的な研究内容および研究計画を作成することができる。また、計画に基づいて調査研究を実施し、経過報告のレポート作成や発表のために内容にとりまとめることができる。報告会や発表会では、プレゼンテーションを行い、質疑応答に加え他グループのテーマに対しても議論することができる。また、外部でのフィールド調査等の実施にあたっては、外部機関との調整等の事前準備や効率的な調査計画の立案を実践することが可能となる。いずれもグループ活動となるため、協調性やコミュニケーション能力を必要とする。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・ 授業外学修時間数 | テーマに応じた文献および参考資料等を取りまとめることやプレゼンテーションのための準備、また、必要に応じてフィールド調査等を実施するなど、当該内容に関する自主的な学習や研究のための作業が必要となる。以上、ゼミナールの事前準備等のために計120時間以上の授業外学修を実施すること。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. メンバーによるディスカッション 3. 調査研究の内容に関する議論とテーマ決定 4. 調査研究計画の作成 5. 調査・研究作業 6. 関連する文献や参考資料の収集と要約 7. 分析および考察 8. プレゼンテーション準備 9. 経過報告、質疑応答 10. 発表会 11. 論文作成 12. レポート作成 | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | ゼミナールでの調査作業やレポート作成をはじめとして、プレゼンテーションおよび討論での発言、さらには授業外学修での調査などを主な評価項目とする。その他、学内外のゼミナール活動における自主性および協調性など、全般的な諸活動への貢献や態度についても対象とし、これらを総合的に評価する。 | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | 授業内プレゼンテーションへの講評、グループワークや課題に対するアドバイス等を行う。 | | | | | | | | |
| 教科書 | | | | | | | | | |
| 指定図書 | | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | 適宜資料を配布またはゼミナール時に参考資料等を指示する。 また、メンバーが自主的に書籍や資料を持参する。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本講義に関する質問・相談は、原則として学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |